

実習で出会う

ワカラナイ言葉 早引きガイド

藏谷 範子 川崎市立看護短期大学 教授
一柳 陽子 川崎市立看護短期大学 講師

全220語掲載で
実習の不安を解消!



実習で学生がまず戸惑うのは、「臨床スタッフが何を言っているのかわからない!」ということです。申し送りが始まると、皆の頭の中に「?」が膨らんでいきます。日本語で話しているはずなのに、まるで別世界の言葉を聞いているような気分になるようです。

様々な業界・職種に、それぞれ独自の言い回しやギョーカイ用語があるように、医療・看護の臨床現場にもそれがあります。こうした専門用語は、一般の人にはわからないその業界・職種ならではの文化であり、それらを理解しないまま安易に使用してしまうと、とんでもない間違いを引き起こしたり、相手に不快な思いを抱かせてしまうことがあります。その反面、上手に言えば、効率よく物事を運ぶことができるようになります。

看護の世界の言葉が少しずつわかるようになると、その場の状況がすばやく把握でき、患者さんに余計な心配などを与えずに効率よく看護を行うことができます。たとえば、緊急連絡事項を患者さんに余計な不安感を与えずにスタッフに確実に知らせるための略語があります。また、略語を上手に使えた経験が、看護師としての自分の成長を実感する機会になることでしょう。

この付録では、実習で学生が「ワカラナイ!」と困る略語や俗語、独自の言い回しなどを集めました。

略語や俗語は、正式名称や使い方を理解したうえで使うことが基本です。これでしっかりと事前準備をして、より学びの多い実習にしてくださいね。

シーン1 外科病棟の看護師さんたちの会話



読み解きワード

ゼンマ ▶ 全麻。全身麻酔の略。

オペ ▶ 手術のこと。オペレーション(operation)の略。

マンマ ▶ 乳房(ラテン語でmamma)。英語ではブレスト(breast)。

カルチ ▶ 悪性腫瘍のこと。カルチノーマ(carcinoma)の略。カルテには「ca」と記載される。

マンマカルチ ▶ 乳がんのこと。ブレストキャンサーとも表現される。キャンサー(cancer)はがんを指す。

シンチ ▶ シンチグラフィーの略。体内に放射線物質を注入し、身体から放射される放射能を測定して画像として映す検査。放射性物質のことをRI (radio isotope)というので、RI検査ともよばれる。

メタ ▶ 転移 (metastasis) の略。骨への転移を**骨メタ**、肝臓への転移を**肝メタ**という。

ケモ ▶ 化学療法(chemotherapy)、つまり抗がん剤治療のこと。化学療法を略して「カリョウ(化療)」と言うこともある。

ホウチ ▶ 放治。放射線治療の略。ラジエーションともいわれる。

アイシー ▶ インフォームド・コンセント (IC; informed consent) のこと。説明と同意。病状などを説明し、患者さんから治療などの同意を得ること。

何で言っているのかな？

看護師A: 「**全身麻酔**で手術した**乳がん**の患者さん
シンチグラフィで**転移**が見つかったらしいよ」

看護師B: 「じゃあ**化学療法**するんだね
放射線治療もするのかな？
これから**大変**だね」

看護師A: 「そうだね
明日、**インフォームド・コンセント**するってさ」

一人の看護師が、患者さんのがんが再発してしまったことについて話しています。それを聞いたもう一人が、今後の治療について思いをめぐらせています。

治療を始めるにあたっては、患者さんにきちんと病状を説明し、治療の同意を得る必要がありますので、インフォームド・コンセントをすると話しています。

memo



シーン2 循環器病棟の看護師さんの会話



読み解きワード

ヘルツ ▶ ドイツ語で心臓(Herz)のこと。

レート ▶ 拍数(rate)のこと。

タキ ▶ 頻脈になること。頻脈はタキカルディア(tachycardia)というので、そこから転じて頻脈になることをタキするという。一方、徐脈は**ブラディ**(bradycardiaの略)という。ちなみに、洞調律のことは**サイナスリズム**(sinus rhythm)といい、正常な洞調律のことを**サイナス**と略してよぶことが多い。

シーエッチェフ ▶ 慢性心不全(CHF)のこと。心不全はHF(heart failure)。

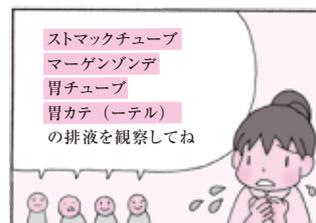
何で言っているのかな？

ヘルツはドイツ語で心臓という意味ですから、ヘルツの患者さんと言われれば、「**心臓疾患をもつ患者さん**」を意味します。

レートは「拍数」なので脈拍数とも心拍数とも考えることができますが、一般的には、心電図の心拍数を意味して使われます。

つまり、「**心電図上、心拍数が頻脈になって大変だったよ。やっぱり慢性心不全みたい**」と話しているのです。

シーン3 同じことでも表現いろいろ



読み解きワード

ストマックチューブ ▶ 胃管を英語で表すとstomach tube。ストマック(stomach)は胃のこと。

マーゲンゾンデ ▶ 胃管をドイツ語で表すとMagen Sonde。マーゲン(Magen)は胃のこと、ゾンデ(Sonde)は管のこと。

胃チューブ ▶ 胃のチューブという意味。日本語の「胃」と英語の「チューブ」がくっついてできている。

胃カテ(ーテル) ▶ カテーテルとは体外と体内をつなぐ医療用の管のこと。「~カテーテル」は、よく「~カテ」と略してよばれる。

何で言っているのかな？

4人の看護師さんが、受け持ち患者さんの観察ポイントについて学生に何かアドバイスをくれました。しかし、看護師さんによってよび方が違うので、学生は困惑しているようです。

でも、実は看護師さんたちは皆、「**胃管の排液を観察してね**」と、アドバイスしてくれています。つまり、ストマックチューブも、マーゲンゾンデも、胃チューブも、胃カテ(ーテル)も、すべて胃管のことなのです。同じことでも表現はいろいろなんです。ややこしいですね。